

するが、またこの中で組合員の希望を具體的に聞くことがなつてゐる。

拒否者集會

拒否者集會がつぎの日進んで行なわれる。

十二日午前九、三〇 三川
午後一、〇〇 四山
十三日午後一、〇〇 富浦
十四日午前九、三〇 本所
午後一、〇〇、淺湯

なお、今回の集會には本部からも出席して当面の就職状態その他も説明することになつてゐるのである。必ずしも出席されるものではない。

の間、仙台高城での松川事件差戻審は二十八回の公判を終り、来る二月に検事諭告、三、四月に弁護側最終弁論が行なわれ、七月には判決が出る見通しである。

檢察、警察の新たなデッチあげ策動、躍起のデマ宣伝はいよいよ露骨をきわめ、世論を惑わせて題目に無実の労働者を死刑に追ひこもうと血道をあけてゐる。

一方、ハガチー事件、多くの公安労働事件にみられるように司法のファッショ化が進んでいる今日、裁判所が検事の手のひらにのつた判決をしなさいという保障は全くなくなつたことを十年の長く苦しんで来た組合員はついに承知した。

その力を集めて、つき上つた映画は自分たちの手で配給して上映することをおぼめたのである。

そして大阪、滋賀、奈良の三府県を除く全国四十三都道府県に、長野、熊本対協、民主団体、サクルなどを中心になつて「松川映画製作上映実行委員会」が組織され、一人一口二〇円の会費制による資金カバ運動と上映組織網の確立で全力をあげて取り組んでゐる。

上映を成功させよう

すでに福島（劇当七五万に九五万納入）、宮城（五〇万に対し五五万納入）、栃木（五〇万）の各県では完全消化し超過完遂しようとなつて努力しているらしい。

宮城の全日通労組では組合員二、〇〇〇名が一〇〇％を消化し「いわれわれは松川の裁判に加わることが遅れていたことを今さら残念に思う。大衆は真実を知れば正義のためにこれを支持し、必ず拘禁することをこの闘いを通じて教へられた」と確信を深めてゐる。

ところで撮影進行状況であるが、このような同期的な運動を支えられ助まされて、山本薩夫監督はじめ各スタッフ、キャストが一丸となつて全南戦を傾けており、十二月六日クランク・イン。すでに三月分の二を張り終り、一月十五月初